

乳児に接種する BCG を守りましょう

静岡厚生病院小児科 田中敏博

静岡県立こども病院総合診療科／小児感染症科 荘司貴代

BCG は結核菌に対する生ワクチンで、生後 5 か月から 8 か月の間に接種をします。3~4 歳以下、特に乳児では結核性髄膜炎や粟粒結核を発症することがあり、その予防のため、本邦では 1 歳未満の定期接種となっています。成人まで効果が持続するわけではありませんが、追加接種の必要はありません。

BCG ワクチンの接種と新型コロナウイルスの関係について、京都大学 iPS 細胞研究所の山中伸弥教授が「BCG 接種と新型コロナ死亡数に逆相関が認められる」と発言されたということで、予防薬と誤解された方から SNS に発信されたという経緯があります。現在、山中先生の情報発信のサイト <https://www.covid19-yamanaka.com/index.html> では、日本ワクチン学会からの BCG の効果は証明されていませんという明確な引用がされており、山中先生が接種を進めているわけではないことがわかります。しかし、このことで高齢者や 5 か月未満の乳児の接種希望者が、医療施設に受診されているようです。そのため、本来接種時期の乳児への影響が出てきており、静岡県内でも大きい問題になっています。

BCG 接種国では COVID-19 の感染者数と死亡者が少ない ¹⁾という発表や BCG 定期接種者での死亡者が減少という発表 ²⁾が出ており、海外では臨床研究も開始されています。しかし現時点では、BCG 接種による COVID-19 の予防効果を示したものはありません。効果の肯定も否定もできず、証明されたものではありません。予防接種にかかわる先生方は、ご覧になった方も多いと思いますが、日本ワクチン学会からは、公式見解が出ています。<http://www.jsvac.jp/pdfs/kenkai.pdf>
また、日本小児科学会からは、乳児への BCG ワクチンの優先接種のお願いも発出されています http://www.jpeds.or.jp/uploads/files/20200406_BCG.pdf

BCG は生産に 8 か月かかり、急激な増産ができません。

<https://www.bcg.gr.jp/news/200406BcgSessyuOnegai.pdf>

定期接種のため、生まれてくるこども達の数も予定生産しています。今回のことで流通が不安定になり、静岡県内でも BCG の入手が困難になっている地域があります。まずは生後 5 か月のこども達が最優先です。割り込みをすると待っている 5 か月のこども達が接種できなくなってしまう。また、5 か月より早期に接種することで、骨炎のリスクがあります。比較的免疫能が未熟な乳児早期での BCG ワクチン接種が、骨炎の増加に影響を与えている可能性も否定できないことから、現在の接種推奨時期

が決まっています。

厚生労働省の BCG に関する Q&A 問 9-11 に詳細が示されています。

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/bcg/index.html#Q09

骨炎を発症すると、年単位の抗結核薬も必要になり、副作用モニタリングで頻回の受診も必要になります。生後 5 か月までは体調不良時の自宅待機、手洗いと咳エチケットを徹底し感染対策で感染そのものを防ぐことが望まれます。5 か月になったら速やかに接種するというプランで統一する方が、平等で混乱も避けられると思います。

繰り返しになりますが、BCG は接種年齢である 5 か月以降の乳児に接種することを優先するべきです。BCG 接種を求めて他の医療機関を転々とショッピングすることも COVID-19 拡大のリスクになってしまいます。成人、特に高齢者の場合、どんな副反応が生じるのか、まったくわかりません。高齢者は、BCG の接種で免疫が高まるとかどうかとは別に、免疫が低下してきていると考えるべきですから、免疫不全状態ではないにしても、生ワクチンである BCG でどんな副反応が生じるのか、データはありません。万が一、高齢者で接種を受けた方を診療された場合には、局所のみならず全身状態の綿密なチェックが必要です。接種推奨年齢以外の BCG 接種希望者が来院された場合は、上記の経緯を念頭に、接種を差し控えるようにお話をいただければと思います。大人が BCG 接種のために病院に殺到し、本来 BCG ワクチンを接種すべき乳児の BCG ワクチンが足りなくなることだけは、防がなければなりません。また自分は BCG ワクチンを接種しているから大丈夫と考えて、予防のための行動変容をしないということは、絶対避けなければなりません³⁾。未知のことが多い COVID-19 に皆さん、多大なストレスをお感じと思います。多くの情報が、入ってくるのですが、落ち着いた行動をしていきたいところです。

1) Miller A, et al: Correlation between universal BCG vaccination policy and reduced morbidity and mortality for COVID-19: an epidemiological study

<https://www.medrxiv.org/content/10.1101/2020.03.24.20042937v1>

2) Sala G, Miyakawa T:

Association of BCG vaccination policy with prevalence and mortality of COVID-19 <https://www.medrxiv.org/content/10.1101/2020.03.30.20048165v1>

3) <https://medical.nikkeibp.co.jp/inc/mem/pub/report/t344/202004/565037.html>

* AMR とは直接関係のない話題ですが、COVID-19 が県内で増加しており、感染症関連ということで情報を共有させていただいております。重ねて情報を受け取られる先生方には、申し訳ありません。

静岡薬剤耐性菌制御チーム